

2009年2月11日

プレスリリース

本資料は2月11日にチュ
ーリッヒで発表されたプレ
スリリースの翻訳版です

**クレディ・スイス・グループ
2008年第4四半期および2008年通年の決算報告を発表
2008年通年で82億スイス・フラン（CHF）の純損失**

- 2008年通年の継続事業は77億CHFの損失。戦略的計画の実施加速にともなう税引後費用を除く継続事業の損失は71億CHF
- 2008年第4四半期は60億CHFの純損失。戦略的計画の実施加速にともなう税引後費用を除く継続事業の損失は49億CHF
- 資本基盤は引き続き堅調。2008年12月31日現在の第1分類資本比率は13.3%。流動性も年間を通じて活発
- プライベート・バンキング部門は引き続き堅調な利益を確保。2008年通年の新規純資産は509億CHF
 - 2008年第4四半期のウェルス・マネジメントの新規顧客純流入は138億CHFと引き続き堅調。顧客ポートフォリオのディレバレッジ分118億CHFによって一部相殺され、新規純資産は20億CHF
 - コーポレート&リテール・バンキングは2008年通年で税引き前ベース18億CHFの過去最高利益
- インベストメント・バンキング部門は引き続きリスクを引き下げ
 - 2008年12月31日現在のレバレッジド・ファイナンスとストラクチャード商品の非流動性資産は2008年第3四半期末比53%減、2007年第3四半期末比87%減
 - リスク資産は2008年12月31日現在1,630億米ドルで、2007年12月31日比31%減、2008年第3四半期末比15%減。2009年末までに1,350億米ドルまで減少する見込み
- 2008年12月に発表した戦略的措置は順調に進展
 - インベストメント・バンキング部門は事業ポートフォリオの刷新と合理化および資本効率化に注力

- アセット・マネジメント部門はグローバル・インベスターズ事業の一部を売却したことにより、利益率の高い事業分野に注力する戦略が前進
- これらの戦略的措置を通じて 20 億 CHF の費用削減を達成する計画は着実に前進
- 統合事業モデルの収益面における貢献は 2008 年通年で 52 億 CHF
- 2009 年は好調なスタート。現在まですべての事業部門で利益を計上

クレディ・スイス・グループは、本日、2008 年第 4 四半期および通年の業績を発表しました。それによると、2008 年通年の継続事業の損益は 76 億 8,700 万 CHF の損失（前年は 77 億 5,400 万 CHF の利益）となりました。戦略的計画の実施加速にともなう税引後費用を除いた 2008 年通年の損失は 71 億 CHF でした。2008 年通年の中核事業業績ベースの純営業収益は 118 億 6,200 万 CHF（2007 年は 345 億 3,900 万 CHF）でした。

2008 年第 4 四半期の継続事業の損益は、戦略的計画の実施加速にともなう税引後費用を除き、48 億 9,900 万 CHF の損失（前年同期は 5 億 3,000 万 CHF の利益）となりました。2008 年第 4 四半期の最終損益は 60 億 2,400 万 CHF の純損失（前年同期は 5 億 4,000 万 CHF の純利益）でした。2008 年第 4 四半期の純損失には、アセット・マネジメント部門の一部事業の売却に関連した事業中止にともなう損失 5 億 3,800 万 CHF が含まれています。2008 年第 4 四半期中核事業業績ベースの純営業収益は 18 億 3,000 万 CHF のマイナス（前年同期は 64 億 5,800 万 CHF の純営業収益）でした。

最高経営責任者（CEO）のブレイディー・ドゥーガンは次のように述べています。「2008 年通年の業績は明らかに残念な結果となりましたが、当社は 2009 年も強固な資本基盤、堅牢なビジネスモデル、明確な戦略、有利な市場ポジションを維持しています。2008 年は前代未聞の市場混乱の年となりましたが、プライベート・バンキング部門は好調な資産流入を記録し、顧客のクレディ・スイスに対する信頼を強調する結果となりました。グローバルなウェルス・マネジメント事業も好調な業績を上げ、スイス国内におけるコーポレート&リテール・バンキング事業は税引前ベースで過去最高の利益を達成しました。インベストメント・バンキング部門では引き続き全体的なリスクの引下げを行いました。2008 年 12 月 31 日現在のレバレッジド・ファイナンスとストラクチャード商品の非流動性資産は、2007 年第 3 四半期末現在に比べ 87%減少しました。現在同部門はリスクが大幅に引き下げられ、資本効率と合理化が改善された体制となっています。アセット・マネジメント部門では、経営資源をオルタナティブ投資、資産アロケーション、スイス国内事業に投入する戦略を進めるべく重要な一歩を踏み出しました。これらは顧客に卓越した投資機会を提供する、拡張性のある利益率の高い事業です」。

「クレディ・スイスは業界で資本比率が最も高い一社で、当社はこれを株主の大幅な希釈化を行わずに達成しています。当社は戦略的計画の実施を加速しましたが、これによって当社のリスクおよび費用基盤のさらなる大幅な軽減化を行ないません。また、内部管理を一層強化する対策も講じました。当社は 2009 年に好調なスタートを切りました。これまでのところすべての事業部門で利益を計上しています。当社は市場の低迷傾向が今後数ヶ月間続いても、その影響を受けにくく、そして市場が回復すれば大きく伸びることのできる事業体制を整えました」（ドゥーガン）。

決算ハイライト

単位：百万 CHF	2008年 通年	2007年 からの 増減率 (%)	2008年 第4半期	2008年 第3 四半期からの 増減率 (%)	2007年 第4 四半期からの 増減率 (%)
当期純利益(損失)	(8,218)	-	(6,024)	378	-
継続事業からの利益(損失)	(7,687)	-	(5,486)	333	-
1株当たり希釈化純利益(損失)(CHF)	(7.83)	-	(5.34)	338	-
自己資本収益率(年換算)	(21.1)%	-	(62.0)%	-	-
BIS第1分類資本比率(当期末) ¹	13.3%	-	13.3	-	-
中核事業²					
純営業収益	11,862	(66)	(1,830)	-	-
貸倒引当金繰入額	813	239	486	271	139
総営業費用	23,212	(8)	6,344	18	5
継続事業からの損失(税引前)	(12,163)	-	(8,660)	246	-

¹ バーゼルII BIS第1分類資本比率は2008年1月1日から適用。それより前の四半期は、バーゼルIに基づく比率であるため比較不可能

² 中核事業は3事業部門とコーポレート・センターの業務を含む。ただし大きな経済的利益を有しない少数株主持分に関する利益と費用を除く。

部門別業績

プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメントとコーポレート&リテール・バンキングからなるプライベート・バンキング部門の2008年通年の税引前利益は42億900万CHFで、前年の実績を23%下回りました。純営業収益は前年比5%減でした。2008年第4四半期の税引前利益は8億7,600万CHFで、前年同期の実績を36%下回りました。純営業収益は前年同期比10%減でした。

ウェルス・マネジメントの2008年通年の税引前利益は24億4,200万CHFで、前年を37%下回りました。純営業収益は堅調で、前年を8%下回りましたが、顧客活動の低迷と平均預かり運用資産の減少という不利な状況を鑑みればよい結果であり、同事業の優れた弾力性を反映しています。総営業費用は前年比9%増で、これは主にオークションレート証券(ARS)に関連した正味引当金4億700万CHF、一部顧客口座の閉鎖関連費用1億9,000万CHF、および現在実施している事業成長戦略にかかわる費用増によるものです。ただしARS関連引当金と顧客口座閉鎖関連費用を除いた総営業費用は前年比2%減でした。2008年の税引前利益マージンは27.8%(前年は40.3%)でした。ウェルス・マネジメントは2008年にリレーションシップ・マネジャーを340名追加雇用し、専門家チームをさらに強化しました。

ウェルス・マネジメントの2008年第4四半期の税引前利益は3億6,300万CHFで、前年同期を63%下回りました。これにはARS関連正味引当金9,700万CHF、上述の顧客口座閉鎖関連費用、貸倒引当金1億1,300万CHFが含まれています。純営業収益は前年同期を17%下回りました。これは経常収益とトランザクション・ベースの収益の減少によるものです。総営業費用は前年同期比5%増でしたが、これは主にARS関連引当金と顧客口座閉鎖関連費用の計上によるもので、一部は報酬と諸手当給付の減少によって相殺されました。2008年第4四半期の税引前利益マージンは17.7%(前年同期は39.4%)でした。

コーポレート&リテール・バンキングの2008年通年の税引前利益は17億6,700万CHFの過去最高を記録し、前年を9%上回りました。純営業収益は前年比5%増でした。総営業費用は前年を若干下回りました。税引前利益マージンは42.8%で、これに対して前年は41.2%でした。

コーポレート&リテール・バンキングの2008年第4四半期の税引前利益は5億1,300万CHFで、前年同期を28%上回りました。純営業収益は前年同期比9%増でした。当四半期の貸倒引当金は1,700万CHFでした（前年同期は800万CHFの取崩し）。総営業費用は前年同期比8%減でした。当四半期の税引前利益マージンは47.0%で、これに対して前年同期は40.0%でした。

クレディ・スイスは引き続きグローバルおよびスイス国内におけるプライベート・バンキング事業の成長に賢明な投資を行ないます。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の2008年通年の損益は税引前ベースで141億8,300万CHFの損失となりました（前年は36億4,900万CHFの税引前利益）。純営業収益は18億3,500万CHFのマイナス（前年は189億5,800万CHFの純営業収益）でした。

インベストメント・バンキング部門の2008年第4四半期の損益は77億7,900万CHFの税引前損失となりました（前年同期は8億4,900万CHFの税引前損失）。純営業収益は45億7,100万CHFのマイナス（前年は27億4,100万CHFの純営業収益）でしたが、これは第4四半期に市場の混乱が拡大し、同部門のほとんどの事業に悪影響を与えたためです。2008年12月にはインデックス・ヘッジ・ポジションの反発とキャッシュ市場の価値下落によって異常な市場環境となり、標準的なヘッジでは効果が出なかったため、当社は大きな損失を被りました。さらに、信用スプレッドの大幅の拡大が業績に悪影響をもたらし、ほとんどの市場でクレジット商品の時価が急落しました。同部門の当四半期の業績には、レバレッジド・ファイナンスおよびストラクチャード商品の正味減価償却合計額31億9,200万CHFが含まれています。顧客主導型事業の第4四半期業績は好調でした。

2008年第4四半期の債券トレーディング業務の収益は、前年同期に比べ大幅に減少しましたが、これは主に上述したレバレッジド・ファイナンスとストラクチャード商品の正味減価償却合計額、エマージング市場とレバレッジド・ファイナンス・トレーディング業務の損失、アジア地域におけるストラクチャード外国為替デリバティブ商品の損失によります。これらの業績は、フローベースの金利商品業務が過去最高の収益を達成し、外国為替業務が好調な収益をあげたため、一部相殺されました。株式トレーディング業務の収益は大幅に減少しましたが、これは主に株式デリバティブ、転換社債、およびロングショート、イベント、リスク・アービトラージュ戦略における大幅な損失によるものです。これらは、現物株取引とプライマリー・サービスの好調な業績によって一部相殺されました。債券と株式のトレーディングは、クレディ・スイスの社債の信用スプレッドの拡大による合計時価評価益19億1,900万CHFによって利益を受けました。引受業務とアドバイザリー業務の2008年第4四半期の営業収益は前年同期に比べて減少しましたが、これは、全体的な市場活動の低迷とプライベート・ファンドの減収によるものです。インベストメント・バンキング部門の2008年第4四半期の総営業費用は前年同期比16%減となりました。これは報酬と諸手当給付が28%減少したことによりますが、この一部はその他の営業費用の合計が4%増加したことによって相殺されました。

インベストメント・バンキング部門における正味評価額調整とエクスポージャー

2008年第4四半期のレバレッジド・ファイナンス業務とストラクチャード商品業務における正味評価損は合計 31 億 9,200 万 CHF でした。

正味評価額調整

(単位：百万 CHF)	2008 年 第 4 四半期-	2008 年 第 3 四半期-	2007 年 第 4 四半期
レバレッジド・ファイナンス	(889)	(870)	(231)
商業用モーゲージ担保証券 (CMBS)	(989)	(1,006)	(384)
住宅用モーゲージ担保証券 (RMBS) および債務担保証券 (CDO)	(1,314)	(552)	(1,821)
合計	(3,192)	(2,428)	(2,436)

開示資産残高

(単位：十億 CHF)	2008 年第 4 四半期末	2008 年第 3 四半期末	2007 年第 4 四半末	2008 年第 3 四半期からの 増減率 (%)	2007 年第 4 四半期からの 増減率 (%)
レバレッジド・ファイナンス	0.9	11.9	35.1	(92)	(97)
商業用モーゲージ	8.8	12.8	25.9	(31)	(66)
住宅用モーゲージおよび CDO サブプライム	5.1	6.8	13.3	(25)	(62)

2008年12月に、クレディ・スイスは、競争環境や市場環境の変化にともない、インベストメント・バンキング部門の位置付け見直しに関する戦略実施を加速すると発表しました。これは、マクロ経済環境の悪化、市場ボラティリティーの継続、そして顧客ニーズが複雑な商品から取引所ベースあるいはフローベースの取引へと変化した影響に対応するものです。インベストメント・バンキング部門は、今後、アルゴリズム取引、現物株式、プライム・サービス、金利、外国為替、高格付クレジット、戦略的アドバイザリーなどの分野ですでに達成している成長モメンタムを加速します。また、複雑なクレジットおよびストラクチャード商品のオリジネーション業務を引き続き縮小するとともに、一部の自己勘定トレーディング業務やプリンシパル業務からの撤退などを通じてリスク資本の使用を削減します。新しい事業モデルは、とりわけ競争環境が混乱している局面において、収益の変動を抑制し、資本効率を向上し、統合事業モデルの利点をより有効に活用します。

アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の2008年通年の損益は税引前ベースで11億2,700万CHFの損失（前年は1億9,700万CHFの税引前利益）となりました。純営業収益は前年を75%下回りましたが、これは主にプライベート・エクイティおよびその他の投資に関する損失によるものです。総営業費用は前年を11%下回りました。

アセット・マネジメント部門の2008年第4四半期の損益は6億7,000万CHFの税引前損失（前年同期は3億200万CHFの税引前損失）でした。この大半はプライベート・エクイティおよびその他の投資の未実現損失5億9,900万CHF（前年同期は3億500万CHFの利益）の計上ならびに当社マネー・マーケット・ファンド取得有価証券の評価損1億6,400万CHF（前年同期は7億7,400万CHF）の計上によるものです。当四半期の純営業収益は4億300万CHFのマイナスで、前年同期を6億1,500万CHF下回りますが、取得有価証券およびプライベート・エクイティおよびその他の投資に関する損益の計上前では、3億2,100万CHF減って3億6,000万CHFになります。総営業費用は前年同期を48%下回りましたが、これは主

として業績連動報酬が大幅に減少したことによります。上記取得有価証券の当社貸借対照表上のエクスポージャーは2008年第4四半期末現在5億6,700万CHFで、2008年第3四半期末現在の評価額を44%下回りました。

アセット・マネジメント部門は、経営資源をオルタナティブ投資、資産アロケーション、スイス国内事業に振り向けました。これらは、顧客に卓越した投資機会を提供する拡張性のある利益率の高い事業です。クレディ・スイスは、2008年通年でオルタナティブ投資事業への新規純資産115億CHFを獲得しました。クレディ・スイスはまた2008年第4四半期に一部マネー・マーケット・ファンドの閉鎖を決定するとともに、伝統的資産運用事業の一部を英国の有力資産運用会社アバディーン・アセット・マネジメントに売却し、同社の株式を最大24.9%取得することで合意しました。新組織はさらなる費用削減の可能性を提供します。

部門別業績

単位：百万CHF		2008年 通年	2007年 からの 増減率 (%)	2008年 第4四半期	2008年第3 四半期からの 増減率(%)	2007年第4 四半期からの 増減率(%)
プライベート・ バンキング	純営業収益	12,907	(5)	3,139	0	(10)
	貸倒引当金繰入額	133	-	130	-	-
	総営業費用	8,565	6	2,133	(9)	1
	継続事業からの税 引前利益	4,209	(23)	876	11	(36)
	インベストメント・ バンキング	純営業収益	(1,835)	-	(4,571)	-
	貸倒引当金繰入額	680	127	355	198	69
	総営業費用	11,668	(22)	2,853	10	(16)
	継続事業からの税 引前利益(損失)	(14,183)	-	(7,779)	141	-
アセット・ マネジメント	純営業収益	496	(75)	(403)	-	-
	貸倒引当金繰入額	0	(100)	0	-	(100)
	総営業費用	1,623	(11)	267	(38)	(48)
	継続事業からの税 引前利益(損失)	(1,127)	-	(670)	-	122

新規純資産

プライベート・バンキング部門の2008年通年の新規純資産は509億CHFでした（前年は535億CHF）。これはウェルス・マネジメントの新規純資産422億CHFを含みます。2008年第4四半期のウェルス・マネジメントへの新規顧客流入は引き続き活発で138億CHFの資産を獲得しましたが、顧客ポートフォリオのディレバレッジ分118億CHFによって一部相殺され、結果的に新規純資産は20億CHFになりました。アセット・マネジメント部門の2008年第4四半期中の純資産流出は211億CHFでした。グループ全体の継続事業からの運用資産総額は2008年12月31日現在1兆1,061億CHFで、2007年12月31日現在の実績を24.4%下回りましたが、これは主に市場と外国為替の不利な動向、アセット・マネジメント部門の純資産流出、米国における一部マネー・マーケット・ファンドの閉鎖によるものです。

統合事業モデルの利点

クレディ・スイスは統合事業モデルを推進します。2008年は年間を通じて3つの事業部門間のコラボレーションにより、著しく取引高が落ち込んだ市場環境においても安定した高マージンの収益がもたらされました。事業部門をまたがる業務でもたらされた収益は2008年通年

で 52 億 CHF となり、このうち 2008 年第 4 四半期の創出分は 12 億 CHF でした。2007 年通年の同様の収益は 59 億 CHF でした。

資本および流動性管理

クレディ・スイスは引き続き強固な資本基盤を維持しています。2008 年第 4 四半期末現在の第 1 分類資本比率は 13.3%で、2008 年第 3 四半期末現在の 10.4%を上回りました。クレディ・スイスは 2008 年年間を通じて資本市場を利用しました。当社が 2008 年に調達した長期負債は合計 371 億 CHF に達しました。また 2008 年第 4 四半期には 13 億 CHF のシニア長期社債を発行し、クレディ・スイスが市場混乱期においてさえも魅力的な社債発行体であることを示しました。また、仮に貸借対照表の規模が現在のまま推移しても、当社は 2009 年の長期負債のリファイナンスを 120 億 CHF に留める見通しです。

配当金支払いの提案

取締役会は 2009 年 4 月 24 日に開催予定の年次株主総会で、2008 年の 1 株当たり現金配当として 0.10CHF を提案する予定です。2007 年の 1 株当たり現金配当は 2.50CHF でした。

本件に関するお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーションズ

梶野 勇

Tel : 03-4550-9893

Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の銀行として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界50ヶ国以上に拠点を持ち、約47,800人の従業員を有しています。クレディ・スイスは世界各地にある複数の事業法人で構成され、本拠地はチューリッヒにあります。親会社クレディ・スイス・グループAGの株式(CSGN)はスイスで上場され、米国預託証券(CS)としてニューヨークでも上場しています。

Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2008 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Form 20-F Item 3 – Key Information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Report 2008.